

エリアマネジメント実務勉強会

令和2年度

概要 (実施の考え方・プログラム)

2021年3月2日（火）
（一財）都市みらい推進機構

目次

I	エリアマネジメント実務勉強会の概要・・・・・・・・	2
II	実施内容（案）・・・・・・・・・・・・・・・・	7

I エリアマネジメント実務勉強会の概要

- エリアマネジメント実務勉強会は、財団の自主事業として昨年度までに4回開催。直近2年度は、勉強会プログラムの充実化（専門性等）を図るため、日本都市計画学会エリアマネジメント人材育成研究会との共催により実施。
- 勉強会の目的は、**地方公共団体や民間企業の職員を対象とした「エリアマネジメントの裾野拡大」。**
- 研修の受講者についてはエリアマネジメント初心者・未実施者を含む広義の実務者を想定するもので、実施内容・プログラムは、基礎的な情報や幅広い知見を提供し、その共有や検討を促すことを重視 ⇒ **研修の対象＝マネジメント人材（≒エリアマネジメントの支援者等）**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
講師	保井先生 国土交通省まちづくり推進課官民連携推進室長	保井先生 国土交通省まちづくり推進課官民連携推進室長	保井先生 国土交通省まちづくり推進課官民連携推進室長	保井先生 国土交通省まちづくり推進課官民連携推進室長
講師（事例）	・札幌大通り ・福井	・秋葉原 ・海老名	・秋葉原 ・荒井東 ・宇部 ・武蔵小杉駅周辺 ・さいたま新都心 ・福井	・錦二丁目 ・虎ノ門 ・多治見 ・浜甲子園
主なテーマ	エリアマネジメントとは（大都市、地方都市の典型例）	エリアマネジメントとは（商業・業務地型、住宅中心型の典型例）	エリアマネジメントを支える「3つの力（負担力、実行力、支援力）」	エリアマネジメント・ケースについて（組織・財源、成果・課題等）
内容	・講演会 ・ 質疑応答	・講演会 ・ 質疑応答	・講演会 ・ ワークショップ ・まとめ	・講演会 ・ オープントーク ・まとめ
参加者	53名	45名	71名	77名

I エリアマネジメント実務勉強会の概要



I エリアマネジメント実務勉強会の概要



I エリアマネジメント実務勉強会の概要

IFUD

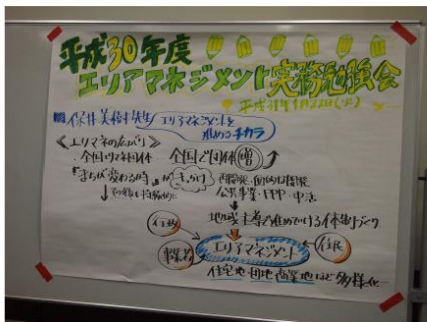
INSTITUTE FOR FUTURE URBAN DEVELOPMENT

平成30年度から、法政大学の大学院生による
ファシグラの「まとめ」を試みています

基調講演

保井美樹氏（法政大学教授、全国エリアマネジメントネットワーク副会長）

講演のまとめ

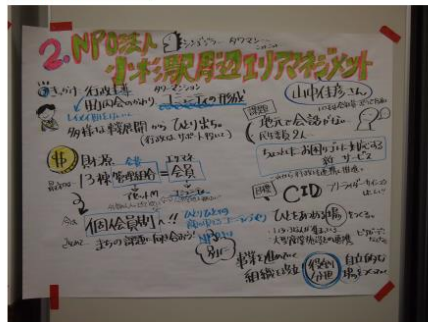


配布資料 http://www.toshimiral.jp/toshimiral_sanjo/data/h30area01.pdf

先進事例報告 2

山中佳彦氏（武蔵小杉（神奈川県川崎市））

事例報告のまとめ

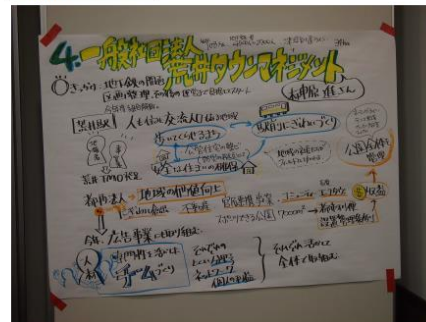


配布資料 http://www.toshimiral.jp/toshimiral_sanjo/data/h30area03.pdf

先進事例報告 4

榑原進氏（荒井東（宮城県仙台市））

事例報告のまとめ



配布資料 http://www.toshimiral.jp/toshimiral_sanjo/data/h30area05.pdf

先進事例報告 6

泉山壁威氏（さいたま新都心（埼玉県さいたま市））

事例報告のまとめ



先進事例報告 1

土方さやか氏（秋葉原（東京都千代田区））

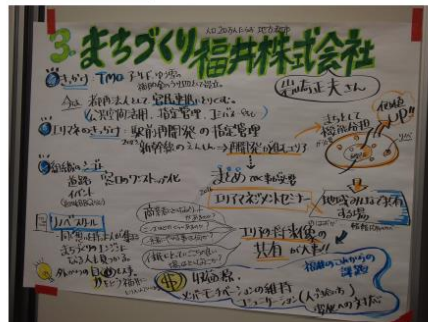
事例報告のまとめ



先進事例報告 3

岩崎正夫氏（福井（福井県福井市））

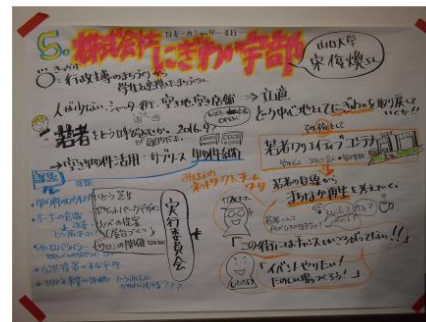
事例報告のまとめ



先進事例報告 5

宋俊煥氏（宇都（山口県宇都市））

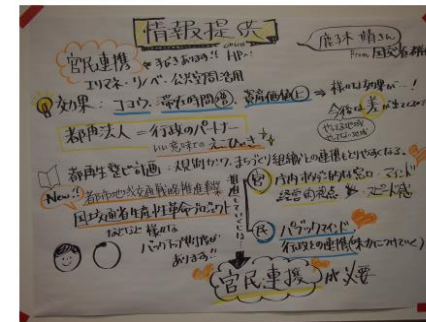
事例報告のまとめ



国土交通省からの情報提供

鹿子木靖氏（都市局まちづくり推進課官民連携推進室長）

情報提供のまとめ



主 催：一般財団法人都市みらい推進機構
日本都市計画学会人材育成研究会

募集期間：2021年 3月2日（火）～ 3月19日（金） 17：00必着

実施日時：2021年 3月26日（金） 13：30～15：30 ※ 予定

実施方法：オンライン配信 ※実施場所は（公社）国際建設技術協会会議室（江戸川橋）

□ **テーマ** 行政と地域が“支える” エリアマネジメント

□ **講師** 保井先生（法政大学）、宋先生（山口大学）、国交省官民連携推進室長、
竹芝（都心）、柏（中心市街地）、氷川台（住宅地）、名古屋市

□ **講演会** 勉強会の参加者に以下 4 点を提供

- 1) エリアマネジメントに関する最新の知見
- 2) 事例の概要
- 3) 行政の立場からの課題提示（@名古屋市）
- 4) 日本都市計画学会人材育成研究会からの課題提示

□ **パネルディスカッション**

選択肢

1. 人的・財政的な支援
2. ハードの提供（土地・床・施設等の貸与、供与など）
3. 計画・ルール・ビジョン等の策定（正統性・お墨付きの付与、合意形成など）
4. その他

参加者の事前質問

- Q1 持続可能なエリアマネジメントで重要と考える「支援」について 選択肢+記入欄
Q2 パネリストへの質問(エリアマネジメントの「支援」について聞きたいこと) 記入欄(自由記述)

論点（≡パネルディスカッションで結論にしたいこと）

持続可能なエリアマネジメントに求められる“支援”とは
～ どのような支援がどのような仕組み(ビジネスモデル)を生み出すのか ～

ファングラの
「まとめ」

プログラム (予定)

1 開会挨拶 一般財団法人都市みらい推進機構 理事長 竹村 昌幸

2 講演会 **※約40 分**

1) 趣旨説明 **2分**

ファシグラの
「まとめ」

保井 美樹 氏 (法政大学教授、全国エリアマネジメントネットワーク副会長)

2) 国土交通省からの情報提供 **10分**

ファシグラの
「まとめ」

栗田 泰正 氏 (国土交通省都市局まちづくり推進課官民連携推進室長)

3) エリアマネジメントリレー ※先進事例 (3地区) による **18分 (6分×3事例)**

一般社団法人竹芝エリアマネジメント (東京都港区)

事務局長 田中 敦典 氏 (東急不動産株式会社)

一般社団法人柏アーバンデザインセンター (UDC2) (千葉県柏市)

副センター長 安藤 哲也 氏

氷川台自治会 (東京都東久留米市) 顧問 殿田 俊三 氏

ファシグラの
「まとめ」

エリアマネジメントリレーの時間は**6分／事例**で、パワーポイント資料を用いたご講演。
以下2点についてポイントをご説明いただきます。

i) エリアマネジメントの概要 (目的、体制、事業、収支など)

ii) 持続可能なエリアマネジメントの取組

①「ビジョン (課題発掘)」「人材」「収益事業」など

②行政、企業、地域等からの支援内容 など

4) 行政の立場から課題提示

名古屋市住宅都市局都市整備部まちづくり企画課

ファシグラの
「まとめ」

時間は**5分**でパワーポイント資料を用いたご講演。

以下3点についてポイントをご説明いただきます。

- i) 名古屋市における地域まちづくり支援の概要（目的、体制、目指している成果 など）
- ii) 名古屋市の地域まちづくりに関する制度の概要（支援内容と狙い）
- iii) 行政の立場から課題提示
 - ① 持続可能なエリアマネジメントで重要と考える「支援」
 - ② 直面している悩み、現場でのボトルネック など

5) 日本都市計画学会エリアマネジメント人材育成研究会の紹介と課題提示

宋 俊煥 氏（山口大学大学院創成科学研究科建築学コース准教授）

ファシグラの
「まとめ」

時間は**5分**でパワーポイント資料を用いたご講演。

以下3点についてポイントをご説明いただきます。

- i) 日本都市計画学会エリアマネジメント人材育成研究会の紹介
- ii) 研究成果について（論文の概要）
- iii) 論文を踏まえた課題提示（人材育成の観点、各主体属性が抱える課題 など）

□ パネルディスカッション ※約60分

コーディネーター

宋 俊煥 氏 (山口大学)

パネリスト (5名)

栗田氏 (国土交通省)、田中氏 (竹芝エリアマネジメント)、安藤氏 (柏アーバンデザインセンター)、
殿田氏 (氷川台自治会)、名古屋市

ファシグラの
「まとめ」

論点 (≡ パネルディスカッションで結論にしたいこと)

持続可能なエリアマネジメントに求められる“支援”とは
～ どのような支援がどのような仕組み(ビジネスモデル)を生み出すのか ～

- 本勉強会では、具体的なエリアマネジメントの事例に焦点をあてつつ、**持続可能なエリアマネジメントを支える「支援」に着目**することで、総合的かつ具体的な論点整理を行い、官民のまちづくりの実務者にとって効果的な研修を提供したい。
- パネルディスカッションでは、本研修への参加者から、**事前質問「エリアマネジメントの「支援」について聞きたいこと」**を受け付け、事務局が予めグルーピングしておき、当該内容を素材にしながら、パネルディスカッションの中で答えを導いていただくことを目指す(予定)。

竹芝(都心)、柏(中心市街地)、氷川台(住宅地)に共通するものはなにか。
一方、異なるものはなにか。

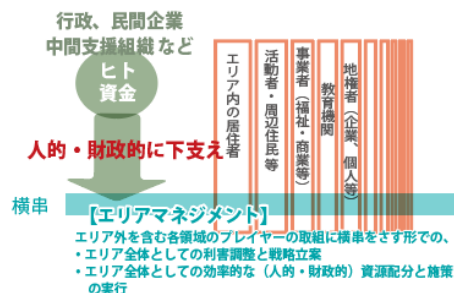
- ① 持続可能なエリアマネジメントを支える「支援」
- ② 直面している悩み、現場でのボトルネック など

事例紹介のイメージ (例)

1) エリアマネジメントの概要 (目的、体制、事業、収支)

2) 持続可能なエリアマネジメントを支える「支援」

人的・財政的な支援



ハードの提供（土地・床・施設等の貸与、供与など）



計画・ルール・ビジョン等の策定 (正統性・お墨付きの付与、合意形成など)



3) 持続可能なエリアマネジメントを支える「仕組み」

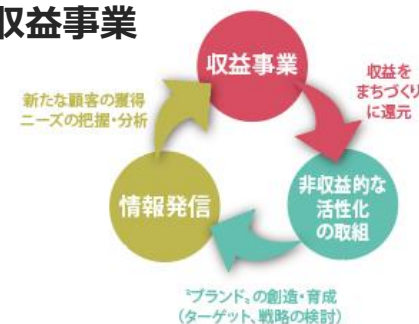
ビジョン（課題発掘）



人材



収益事業



事前質問票 「エリアマネジメントの「支援」について聞きたいこと」

参加者のみなさまには、下記の事前質問についてご協力をいただきます（任意）

Q1 持続可能なエリアマネジメントで重要と考える「支援」について

エリアマネジメントの取組をはじめ、継続させていくために必要と考えられる「支援」について、以下に4つの例示をしています。このうち、貴方(又は、貴団体)が重要と考える「支援」の全てについて、回答欄の「○」印を選択(プルダウン)し、記入欄にその概要を記入(30文字程度)してください。

支援の例	回答欄	記入欄
1) 人的・財政的な支援		
2) ハードの提供(土地・床・施設等の貸与、供与など)		
3) 計画・ルール・ビジョン等の策定(正統性・お墨付きの付与、合意形成など)		
4) その他		

Q2 パネリストへの質問（エリアマネジメントの「支援」について聞きたいこと）

エリアマネジメントの「支援」について、貴方(又は、貴団体)が直面している悩み、現場でのボトルネックなど、パネリストに具体的に聞きたいことがあれば、その内容を記入欄に記入してください(50文字程度)。

記入欄